

山北小学校より
山北小学校だより

児童一人一人輝く、夢実現

山北っ子

H30. 6. 29
第4号

文責
淵上 佳宏

「のばそうよ健康寿命歯みがきで」

六月上旬は「歯と口の健康週間」として、全国でいろいろな取り組みが行われました。冒頭のタイトルは今年の標語です。

山北小でも、校医の安田先生の歯科講話（二、四、六年）や保健センターの方々の歯磨き指導（一、二、三年）を行いました。また、家庭には「家族と一緒に歯磨きカレンダー」に取り組んでいただきました。さらに年間を通して保健センターや保護者ボランティアの方々のご支援で、フッ化物洗口を行ってまいります。このように、玉東町では、以前から様々な取組を行っているのおかげで、本校児童の歯の健康状態は、比較的良好です。しかし最近、う歯保有者や未処置者の割合が徐々に増加する状況が見られ、傾注しています。

歯が丈夫だと、食べ物をおいしくいただけただけでなく、生涯にわたって健康な生活につながると思われる言葉です。歯科講話で安田先生からは、フッ化物洗口も効果はあるが、やはり歯の健康の基本

	本校	県全体
う歯保有者の割合	29.9%(+2.0%)	55.8%
(内、未処置者の割合)	21.5%(+6.2%)	29.2%

※歯科検診時点、()内は前年度比

は、「日々の丁寧なブラッシング」とのお話もありました。

今後とも丁寧な歯磨きで健康な歯を維持できるように、ご家庭でもご指導をお願いします。

なお、う歯の未処置の場合は、早めの受診をお願いいたします。

研究授業（六年国語科）を行いました

教育公務員特例法第二十一条には、「教育公務員は（中略）絶えず研究と修養に努めなければならぬ」と規定されています。このことは「学び続ける教師でなければ、子どもの前に立つことはできない」という意味だと私は解釈しています。そこで、教職員が互いに学び合い（協働性）、児童に力をつける（実効性）ため、本年度は、研究主任の西崎教諭をリーダーに、教職員全員で取り組む校内研究をより一層充実させたいと考えています。

本年度の研究テーマは「書く力を育てる国語科の学習をめざして」、サブテーマを『対話』を意識した学び方の習得を通して」とし、平成三十二年度から全面実施される新学習指導要領を踏まえて、国語科を中心に取り組むこととしました。そして、六月二十五日（月）、本年度最初の研究授業に、六年担任の北原教諭がチャレンジしたところです。



歯科講話の様子（6/13）

当日は小天小学校長で、元玉名教育事務所指導課長の井上先生を講師にお招きし、ご指導いただきました。井上先生の講評を一言でいえば、「六年生の子どもたちは素晴らしい。授業はもう一歩。」といったところでしょうか。それでも「成長（変容）する教師には、山北小の子どもたちは必ず応えてくれる」と確信しました。

授業を頑張ってくれた北原教諭はもちろん、教職員全員にとって有意義な研修となりました。



校内水泳大会があります

六月中旬から始まったプールでの授業は、蒸し暑い日が続いていることもあり、楽しみにしている子どもが多いようです。授業で学習した成果を発表する場として、左記の日程で校内水泳大会を行います。都合がつかれる方はどうぞご参観ください。

○日時 七月十日（火）午前九時半～
※当日の天候等で変更する場合は、学校メールで連絡します

夏休み中の学校閉庁について

八月十三日（月）、十四日（火）、十五日（水）は学校を閉庁します。急用の方は町教育委員会（電話：八五―三六〇九）へご連絡ください。